

1、開催日時：平成 21 年 4 月 24 日 15:00～17:00

1、開催場所：檜山コミュニティーセンター

1、技師会理事数 25 名

参加理事：阿部毅、佐藤寛、遠藤正志、藤田秀文、宮野勇徳、三浦徹、奈良悦子、市川聡、三浦浩子、川上登、平澤裕之、伊藤優子、熊谷優子、齋藤敦、田中喜美子、高橋一彦、木内優子、武田亮、村岡利生

欠席(○委任状提出者)

- 高山憲男、○安部真理子、○高橋稔、○伊藤晃、○金子栄一、
- 高橋和則

参加理事 19 名、委任状提出理事 6 名、計 25 名で総理事数の過半数を超えており、今回の理事会は成立した。

また、今回の理事会では東北医学検査学会の内容も討議するため、準備委員として菅原裕之(学会長)、伊藤良子、貝田奈津子、松橋博之の 4 氏も参加した。

1、書記：高橋一彦(県南担当)

1、議事録署名人：宮野勇徳、佐藤寛

1、議事内容：阿部会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長 阿部会長

<書記の選出>

○書記は、中央、県北、県南、由利の各支部順で行われており、今回は県南より高橋一彦が選出された。

<議事録署名人の選出>

○宮野勇徳、佐藤寛の 2 名が選出された。

## I. 会長挨拶

先般の総会において、菅原会長の後任として県技師会の会長を引き受けることとなった。あらためて理事の皆様には、ご協力を賜りたく、よろしくお願ひしたい。

現在の医療情勢は厳しい中にあり、技師会組織を運営していくことは厳しいものがあるうかと考える。しかし、基本に返り基盤の整備を行い、臨床検査技師として学術の研鑽はもとより、地域保健活動を行っていくことも重要なことと考えている。

技師会の成長、発展のために役員を始め皆様のご協力を切にお願いしてあいさつとする。

## II. 前回理事会議事録の確認（平成21年度第5回理事会）

- ・ 議事録の中に「来年の県学会も中央になるのか？」という藤田前副会長の質問に対し、菅原前会長が「今後の話し合いにしたい。来年度の総会に提案する」との答弁が記載されている。この点について、討議が行われた。

各支部から持ち回り制に対する意見が出された。その結果、今後4支部が順番に一年交代で担当していく形式の案が提起された。（中央には戻さず、各支部が4年に1回担当する形式）

この議案については、第1回通常総会で阿部会長が提案し、今後の形式を決めていくこととした。

- ・ 三浦徹理事より、議事録3枚目に「精度保障事業：精度管理・・・20年度は輸血A・Bで実施した」とあるが、この解釈について質問があった。これに対し阿部会長から、今年は微生物A・Bで実施するという事と考えられるとの返答がなされた。

## III. 議事 ー議長： 阿部会長ー

### 1) 理事の紹介

宮野事務局長より本年度の理事の紹介が一名ずつ行われた。

### 2) 第50回東北医学検査学会について

議事順番を変更したため、後に記載する。

### 3) 常務理事・理事の担当会務について

阿部会長より各理事の担当会務が任命された。

- ・ 担当会務については定款に沿って決定されたものである。理事の皆様には、担当の内容を今一度確認するようお願いしたい。
- ・ 事務局には事務局庶務部（総務部）と事務局会計部がある。庶務部（総務部）の部長には村岡利生理事、また会計部部長には高橋和則理事に、それぞれお願いしたい。

### 4) 各支部長の確認について

- ・ 県北支部は川上登理事にお願いする事が確認された。
- ・ 県南支部は伊藤晃理事となっているが、情報に食い違いがあるかもしれないので、確認を急ぐ。
- ・ 由利支部は木内優子理事にお願いする事が確認された。
- ・ 中央支部はまだ決まっていないので、本日話し合いを行う。

### 5) 平成21年度第1回通常総会について

宮野事務局長より説明がなされた。

①開催日時：5月30日（土） 場所：ルポールみずほ

14：00～15：00 総会

15：00～16：00 平成20年度秋田県精度管理調査報告

16：00～17：00 公開講演（講師、内容が未定で常任理事会のほうで決定していく）

## ②総会役員選出について

総会役員は各支部から選出する。

議長 2名 : (中央支部) (県北支部)

資格審査委員 3名 : (県南支部理事) (県北支部) (中央支部)

議事運営委員 3名 : (由利支部理事) (県南支部) (中央支部)

書記 2名 : (県南支部) (中央支部)

議事録署名人 2名 : (由利支部理事) (県北支部)

選出は各支部の支部長にお願いしたい。締め切りについては後日連絡したい。

## ③議案書(案)の内容・担当配分について ~宮野事務局長より~

議案書は、昨年度の議案書の雛型に従い、各担当者に作成が依頼された。

項目ごとに担当者の割り振りが行われ、作成の締め切りは5月2日(土)とした。

宮野事務局長宛てにメールで送信する。

会計については、秋臨技は事務局が、精度管理委員会は三浦徹理事がまとめている。

佐藤副会長より：今年行った初詣の事業は載せなくて良いのか。

宮野事務局より：それも掲載する必要がある。自分の担当以外でも気付いたことがあったら記入して送信して欲しい。

## ④その他

- ・ 会員の永年勤続表彰が今回も行われる。20年と30年の表彰があるが、45人程度該当者があり、案内を発送する。記念品については、経費もかかるため昨年より値段を下げている。
- ・ 技師会活動に貢献して下さった会員として、2期4年に亘りご尽力くださった菅原前会長に感謝状を送ることが全会一致で決まった。

## 2) 第50回東北医学検査学会について・・・議事の順序が変更になった

<阿部会長より>

今年度最大の事業ともいえる東北医学検査学会が本県で開催される。幸いにも菅原前会長が学会長を努めてくれることは大変心強いつ感じている。今回は50年という記念の学会であり、内外からの注目度、期待度は大きいものと感じている。

学会成功に向け、大きな不安材料は無いものと認識しているが、多くのマンパワーを必要とすることなので、各地区の会員には準備の段階から予定を空けておいてもらえるよう、また演題発表も心がけてもらえるよう啓蒙をお願いしたい。

<菅原学会長よりあいさつ>

理事の皆さんには、第1回の理事会ということで、忙しい中集まっていたいただき、ご苦労様です。

会長から話にあった通り、本学会を第50回学会というものにふさわしい内容にしたいと考えている。手元にある要綱集の原稿の通りに現在進行中であり、本日の理事会をきっかけに更に進行していくものと感じる。

皆様の力添えの下、良かったと思える学会にしていきたいと思うのでご協力をお願いしたい。

以下、学会の要綱集に従い、佐藤寛副会長より説明が行われた。

- ・ 表紙や裏表紙の色は全体にかかるものになるが、おおよそこのようなイメージである。
- ・ 印刷屋に出すものであるが、まだ訂正が可能なので、気付いた点は教えて欲しい。
- ・ 学会内容部分の合同公開講演の内容が未定であるが、印刷に間にあうのか。  
(阿部会長より) アレルギー学会側には、要綱の校正の段階で間にあえば決めてもらおうと考えている。今のところもらっていない状態である。
- ・ 今回の演題申し込みは、日臨技のホームページである JAMTIS を使って予備登録および抄録の登録を行う。この方法について、わかりやすいように文章を作成したつもりだが、JAMTIS を使って発表した経験のある方がいれば、意見を聞きたい。

この内容に対し阿部会長より補足がなされた。

- ・ 学会の準備委員会を昨年から立ち上げており、組織図も完成している。理事に配布するので確認して欲しい。各理事の会場や担当の責任者名と分担が書かれている。
- ・ 各理事にはメールアドレスを提出してもらい、メーリングリストに登録してもらう予定である。伊藤良子さんのほうから招待メールを発信するので、返信するだけでよい。こうすることで各理事が全体の進捗状況を把握することが可能となる。
- ・ 学会に向けての今後のタイムスケジュールを記載してある。この中で、要綱は4月30日までに校正を完成させ、5月18日には発送したいと考えている。これと同時に展示広告や、レクチャー、ランチョン、技術セミナーについても依頼を発送できればと考えている。
- ・ 5月13日に学術部門会議が開催される。この点について三浦学術部長から説明があった。  
(三浦学術部長より) 5月13日の会議については、各部門長にはメールで連絡済であるが、本日学術担当となった理事にも出席して欲しい。案内分を近日中に発送する。その会議の中で、レクチャー、ランチョン、技術セミナーの内容を決めていくことになるので、よろしく願いしたい。
- ・ 学会の一般演題登録受付は、6月1日から開始し、6月30日に締め切る。抄録原稿登録は6月1日から開始し、7月31日に締め切る。演題登録が締め切られた7月1日から7月10日の間で演題プログラムを作成する予定。このスケジュールの中で他のポイントというと、学会抄録の印刷は8月28日頃に印刷依頼したいところである。8月28日までに抄録に載せなければならないものを詰めて、9月18日を目処に抄録の発送としたい。各演題の座長、委員企画、展示広告の締め切りなど、8月28日にあわせて決めていきたい。

- ・ スケジュールの中で足りない部分があるかと思うので、随時変更、追加しながらポイントをクリアしていきたいのでよろしくお願ひしたい。
- ・ 学会組織運営図であるが、訂正がある。第 5 会場責任者の村岡利生理事が県北支部担当になっているが全県支部が正しく、第 9 会場責任者の奈良悦子理事が全県支部担当になっているが、県北支部が正しい。また、第 3 会場責任者の高山憲男理事が県南支部担当になっているが中央支部が正しい。
- ・ (遠藤副会長より質問)  
第 10 会場と第 11 会場に責任者があるが、この会場とはそれぞれ展示会場と健康祭り会場のことなのか。  
(阿部会長より)  
当初、第 5 会場と第 6 会場は更に 2 会場ずつに分かれていた (A, B, C, D)。それをいっしょにしたので、2 会場余ってしまっているようだ。後で、会場の部分を作り直して、メール等で流すこととする。  
(村岡利生理事より)  
会場担当は、大きく変るのか。  
(阿部会長より)  
支部ごと配置分けを考え、作成するをしたい。基本的に 1 会場を支部で受け持つってもらうことになる。照明やスライドも考えれば、各会場に 7~8 名のスタッフが必要と思う。そのような形で考えておいて欲しい。
- ・ PC 責任者の市川聡理事へであるが、学会で使う映写用パソコンは富士通より 18 台借りることになっている。その借り受け、返品を担当してもらいたい。  
(村岡利生理事より)  
一般演題の時間配分の部分であるが、新潟では 120 題程度と非常に多かった。今回 50 年の記念学会として、演題が増えた場合に現在の時間配分からあふれると思うが、最大の受付制限はあるのか。  
(阿部会長より)  
演題が多い場合、2 日目の 10 時で終了するところを伸ばしていくことになるだろう。演題を断ることはしない予定。去年は新潟県から多数の演題が出ていた。  
(佐藤副会長より)  
要綱の「学会内容」<シンポジウム>の内容に関する文章はこれでよいか。  
『メインテーマ「つむぐ」に沿った内容で、現在計画しています』の部分。  
考えていることがあれば載せたいが。  
(阿部会長より)  
ぎりぎりまで検討する。
- ・ メーカー (オーソ) から 200V の電源が取れるのかどうか、きかれている。アトリオンで可能なのだろうか。知っている人はいないか。  
(平澤裕之理事より)  
電気関係の専門業者にオーソの会社が責任を持って依頼して、アトリオン側に可

能かどうかの交渉をさせたほうが良いのではないか。技師会としては斡旋しないことでよいのではないか。

- ・ 展示について（藤田副会長より）

日程表にも書いてあるが、展示会場はイベント広場になる。1コマ 90cm 四方単位 5 万円で貸し出す。今のところ多くて 50 社くらいの予定である。案内もまだだが、そのように予算を立てている。スペース的に 50 コマくらいあるが、何コマかアレルギー学会での使用もありうるので、展示が減ることや他の場所をお願いすることもあり得ると思われる。

- ・ 健康祭りについて（遠藤副会長より）

健康祭りについては昨年の新潟学会を参考にして、血圧、体脂肪、血管年齢、肺年齢、骨密度、ストレス度、アレルギー検査等の測定を予定している。しかし、まだそのような物を手配できるか未定なので、業者や問屋に聞いていく。スタッフなども詰めていく。

- ・ 全体として（菅原学会長より）

2 日目に共催する日本心電学会資格認定更新研修会であるが、プログラムでは 10 時 30 分からとなっているが、日臨技からはランチョンセミナー方式で行いたいと来ていたが、どうか。

（阿部会長より）

その後、東臨技側と関係者側から、その時間にレクチャーで行うことでよいとの連絡があった。

（菅原学会長より）

これからの日程の部分であるが、式典関係の案内を早目に出したほうが良いと考える。関連団体である県、医師会、来賓、受賞者関係、特に県、医師会には「ご挨拶」の関係上早く取り組んだほうが良いと考える。市長側にも早く手配しなければ、本人が来ないと感じる。

<その他として>

- ・ 式典に参加する方の名簿がわかったら早く完成したい。式典次第の印刷の関係もある。印刷は抄録と同じでよい。（担当理事より）

- ・ （村岡利生理事より）

アレルギー学会との共催を理解しているが、1日目の第1会場、第2会場、第7会場の会場担当者のアレルギー学会への手伝いもあり得るのか。

（阿部会長より）

基本的に手伝いは考えていない。第1会場、第2会場、第7会場は2日目の設営の担当となる。1日目は関係しない。

（藤田副会長より）

学会テーマであるが、「つむぐ」～五十年の輝ける軌跡と未来への一步～ という表記の仕方が、要綱の表紙と学会長のあいさつ文中では違いがあるので、全て統一できるようにしたほうが良いのではないか。

(阿部会長より)

了解とする。

(市川聡理事より)

学会用パソコンであるが、富士通側でセットアップを手伝ってくれるのか。

(阿部会長より)

手伝いは無いので、こちら側で全てお願いしたい。支部の会場係にも管理をお願いすることになる。

(高橋一彦理事より)

プロジェクターは準備されているのか。

(阿部会長より)

エプソンから8台リースすることになっている。

(会場中理事より)

昨年の新潟学会では式典のマニュアルなどあり、学会内容も含まれていた。このような感じのものがあれば良いと思うとの意見あり。

・・・検討する事とされ、はっきりと作成するかの結論には至らなかった。

### Ⅲ. 事務局からの連絡

#### 1) 理事の個人情報の記入について

連絡網を作成するので、理事の個人情報を記入用紙に記載してFAX送信して欲しい。

#### 2) 法務局への登録手続き用書類提出について

新たに理事となった方は、事務局に住民票を郵送してほしい。返信用封筒を準備している。手数料は立て替えておいてもらい、後日事務局で支払う。

#### 3) その他

- ・ 本日欠席の理事にも今回の会議資料を郵送する。もし、会うようなことがあれば伝達して欲しい。
- ・ 多くの情報をメールで送信する。朝、メールを確認することを習慣付けて欲しい。

(三浦学術部長より)

- ・ 3月の総会で精度保証事業部を立ち上げることが決まっている。これは「秋田県精度管理調査」と昨年度まで実施していた「共有化サーベイ」を合わせたものになる。5月13日に学術部門の会議を行うが、精度保証事業部についても話し合いを持つ予定である。取り急ぎまとめる必要があるのが共有化事業で、今年度の実施や料金についての問い合わせが来ている。内容を取りまとめなければ案内の発送もできないので、よろしくお願いしたい。

(村岡利生理事より)

- ・ 県技師会のホームページを担当する委員会などを設ける予定は無いのか。

(阿部会長より)

技師会のホームページは伊藤良子さんに管理してもらってきた。しかし、21、22年度はご本人が理事になられてはいない。できれば後任を育てながら、また担当をお願いしたいと思うが、どうであろうか。

・・・全会一致で、お願いすることが承認された。

委員会については、現在考えてはいない。総務管轄関係になるので、今後どうしていくかは検討したい。

以上

社団法人 秋田県臨床検査技師会

議事録署名人 宮野 勇徳 ⑩

議事録署名人 佐藤 寛 ⑩